

柔道しずおか

平成22年 3月 静岡県柔道協会発行

事務局 〒420-0911 静岡市葵区瀬名7-2-38 佐々木秀男
TEL 054-265-5272 FAX 054-265-5274

【巻頭言】

日本の柔道発展と 後継者育成のために

静岡県柔道協会 副会長 七段 石黒 金次



■日ごろのご努力に感謝

静岡県西部地区柔道協会を立派につくりあげた高柳先生をはじめ、飯田先生、前幹事長山崎先生の多大なるご努力に感謝の念を表する次第です。

西部地区は各地域の指導者がそれぞれの活動拠点に情熱を注ぎ、ご苦労を重ねて指導を続けてきました。その中から若い指導者も誕生し、さらに大きな輪となって発展しています。中学・高校においても指導者の皆様の熱意が、地域の柔道の活性化を担っていることを実感しております。私自身も西部地区幹事長として地区活動の育成に力を注いでまいりましたが、それが日

本の柔道の振興の一助となれば、これほど嬉しいことはありません。そして、日ごろの皆様の献身的なご努力に、あらためて感謝いたします。

■日本柔道を活性化するために

このような皆様のご尽力にも関わらず、日本の柔道人口の減少は紛れもない事実です。発祥の地である日本の柔道人口は20万人で、これはドイツと並ぶ数字です。フランスの登録人口は50万人といわれ、これには学ぶべきところがあるといえるでしょう。全柔連は、さらなる調査研究をされ、その結果情報を積極的に発信していただきたいと考えています。絶対的な柔道人口の増加は活性化の必須条件であり、日本の柔道界を支える原動力です。

■体重別の細分化が不可欠

今後の柔道人口を増やすための方策はないものでしょうか。ここでは、私自身の体験をもとに感じていることをお伝えしたいと思います。

確かに柔道とは「勝ち負けだけ」が問われるスポーツではありません。しかし、特に小学生クラスにおいては、「勝つこと」が大きな喜びであり、続けることとのモチベーションに直結します。負け続ければ気持ちが悪く萎えてしまうのも、とてもよくわかります。そして、負ける原因のほとんどが体力差や体重差による「力負け」なのです。教える子が努力を重ねて習得した技が、体重で押しつぶされてしまうのは指導者として見ても、非常に忍びないことです。

このような問題を解消するには、体重区分の細分化が必要だと考えます。もちろん小学生だけでなく中学・高校についても同様であり、さらに団体戦も同様とし、女子は5名の団体戦とするのが私の持論です。現在の日本の柔道界を活性化させるためには、試合に出場するチャンスを増やし、勝つことの喜びを分かち合えるようなシステムが不可欠なのです。

■安全に直結する体重差の問題

体重別の細分化は、安全という大切な問題にも直接関わります。52kgの選手が110kgの選手を相手に背負い投げで一本勝ちしましたが、十字靭帯断裂を起して選手生命を絶たれました。また、60kg差の選手が同体で倒れ頸椎骨折をした例もあり、これも指導者として忘れることはできません。

資料によると、10kgの体重差は、約2tの筋力差と同等となります。しかし、講道館昇段資格の内規では初段から四段までの試合は体重無差別とされています。このような条件で軽量者が勝つことは非常に困難な状況です。

柔道では昇段することは最大の夢であり願望です。したがって、講道館及び全柔連はこの体重差の問題を踏まえた上で、原点から規約を見直していただきたいと考えます。世の中が大きく変化している時代、柔道界にも新風を望みます。この改革こそ、日本の柔道を活性化させるための必勝の一本技といえるでしょう。



第64回 新潟国民国体大会

新潟国体成年男子3回戦進出、成年女子5位入賞 天皇杯18位皇后杯10位

第64回国民体育大会柔道競技は新潟市豊栄総合体育館で開催され、本県は成年男子と地区予選を勝ち抜いた成年女子が出場した。成年男子はまたも3回戦で優勝した東京都と対戦し、成年女子は準々決勝に進出した。国体の様子を渡辺達也監督(成年男子、静岡県警察 勝呂良三監督(成年女子、庵原高校教諭)に報告してもらおう。



静岡県成年男子チーム

成年女子監督 勝呂良三 (庵原高校)

成年女子は各ブロック大会を勝ち抜いた精鋭十六チームの戦いとなり、5位入賞を目標に試合に臨みました。

成年女子監督 勝呂良三 (庵原高校教諭)

コーチ

西川勝啓 (裾野高校教諭)

先鋒 川口有紀 (静岡県警察)

中堅 山下敦子 (伊豆長岡総合食品)

大将 土屋文香 (東海大学)

一回戦

静岡県 ①ー1 (内容勝ち) 福岡県

先鋒 川口有紀 (静岡県警) 引き分け

中堅 叶 梨絵 (福岡大学)

大内刈り技あり負け

川上由貴 (福岡大学)

大将 土屋文香 (東海大学)

袈裟固め一本勝ち

山崎裕子 (福岡工業大学)

1回戦は昨年準優勝の福岡県との対戦となりました。接戦は予想されましたが、最後はエース土屋文香(東海大学1年)が押さえ込み①ー1の内容勝ちで、準々決勝に進出することが出来ました。準々決勝

静岡県 0ー2 富山県

先鋒 川口有紀 (静岡県警)

引き分け

西中亜由美 (高岡法科大学)

中堅 山下敦子 (長岡総合食品)

内股一本負け

田知本 遥 (東海大学)

大将 土屋文香 (東海大学)

あわせ技一本負け

田知本 愛 (東海大学)

全日本強化選手の田知本姉妹を擁する優勝候補筆頭の富山県(準優勝)との準々決勝となりました。先鋒をうまく引き分けられ、接戦に持ち込むことが出来ませんでした。しかし、都道府県対抗から、主将の川口を中心に良い雰囲気での試合に臨むことが出来、目標である五位入賞、皇后杯十位という成績を収めることが出来ました。こ

れもひとえに選手及び各所属の指導者の努力と会長をはじめたくさんの方々の御支援のおかげとたいへん感謝しています。

平成二十四年に国体を控えた岐阜県、全国でもトップレベルの愛知県のいる東海地区において、本大会出場枠が一チームという厳しい実状の中で、近年、本県の女子柔道の強化は着実になされていると感じます。国体の状況や各種大会をみてもその結果が出ていると思います。更なる飛躍を目指すために、小・中・高の一貫した強化体制の確立と成年男女のふるさと出場のための環境作りをしていきたいと思っています。

国体出場に当たり、御支援いただいた方々に感謝申し上げます。国体の報告とさせていただきます。ありがとうございました。

成年男子監督 渡辺達也 (静岡県警察)

第六十四回国民体育大会は、平成二十一年十月三日から五日までの間、新潟市豊栄総合体育館にて開催されました。

今回の静岡県チームは、東海ブロック大会で成年女子が一位となり本大会出場を決めたものの少年男女が惜敗したことから成年男女の参加となりました。なお、成年男子のメンバーは昨年の大分国体と同じメンバーであることからそれぞれの気心は知れたもので、今年もチーム一丸となって一戦一戦勝ち抜いて静岡の強さを見せようと試合に臨みました。

静岡県選手団(成年男子) 総監督 野田昭一

(東海リハビリテーション専門学院長) 総務 間宮幸男(興誠高校教諭) トレーナー 一瀬 誠(一瀬整形外科)

成年男子監督 渡辺達也(静岡県警察)

先鋒 漆畑 良(東海大学)

同 次鋒 日下徹朗(静岡県警察)

同 中堅 小椋俊彦(静岡県警察)

同 副将 齊藤和仁(静岡県警察)

同 大将 増田圭省(セコム)

初戦は、二回戦からで、一回戦で鹿児島県に勝った石川県との対戦となりました。

静岡県 三 対一 石川県

先鋒 漆畑(東海大学)

引き分け

酒元(金沢刑務所)

次鋒 日下(静岡県警察)

同 朽木倒有効勝ち

同 鈴木(金沢自衛隊)

中堅 小椋(静岡県警察)

同 反則勝ち

同 八重樫(国士館大学)

副将 齊藤(静岡県警察)

注意負け

山根(金沢学院大学)

大将 増田(セコム)

同 掬投有効勝ち

同 川端(金沢大学大学院)

三回戦は、過去五年で三回優勝している東京都との対戦。東京都とは、今年で三年連続三回戦での対戦となり、実力では格上であるチームとの対戦ではありますが今年こそはなんとか一矢を報いたい気持ちで試合に臨みました。

東京都 四 対〇 静岡県

先鋒 豊田(警視庁)

引き分け

漆畑(東海大学)

次鋒 金岡(警視庁) 同 掬投有効負け

同 日下(静岡県警察)

中堅 西山(新日本製鐵)

同 小外刈技あり負け

同 小椋(静岡県警察)

同 高橋(新日本製鐵)

同 大外刈一本負け

同 齊藤(静岡県警察)

大将 立山(JRA)

同 浮落一本負け

同 増田(セコム)

東京都の昨年優勝のメンバーは中堅の選手が残っているだけで他の選手は入れ替わっていたものの圧倒的な強さで優勝。全日本の一線級の選手をそろえ、層の厚さから常に上位入賞している東京都との対戦で結果は敗退しましたが、決して完敗ではなくもう少し試合運びを考えて変えていたら接戦となっていたと思われれます。今後も強化練習等を積極的に実施し、選手の強化に努めていく所存であります。大会出場にあたり、ご支援及びご声援いただいた方々に感謝申し上げます。大会の報告といたします。



静岡県成年女子チーム

第64回国民大会

第64回国民大会東海ブロック予選会

平成21年8月16日

静岡県武道館

「国民体育大会第30回東海ブロック大会柔道競技」兼「第64回国民体育大会東海地区予選会」が、8月16日(日)静岡県武道館で開催された。

我が静岡県は、本大会出場を目指し初戦の三重県と対戦した。少年男子は先鋒が終了直前に内股で有効を取り、次鋒以下4人が厳しい戦いを引き分け1対0で勝利した。少年女子と成年女子は共に3者引き分けのスタートだった。

2戦目は、国体開催を控え強化に努めている岐阜県との戦いとなった。少年男子は先鋒が技ありを取られるスタートとなったが、中堅が反則ポイントを誘い、副将も苦しい展開の中、終了直前の内股で引き分けに持ち込み大将戦につないだ。そして大将が一本を取り2対1で勝利した。少年女子は中堅の失点を挽回できなくて0対1で敗れた。成年女子は先鋒と大将が一本勝ちを収め2対0で勝利した。

最後は愛知県との戦いだった。少年男子は強敵愛知県に対し大将戦まで勝負を持ち込んだが1対2で敗れた。少年女子も大将戦の勝負となり0対1で敗れた。しかし、成年女子は先鋒と大将

が寝技で一本勝ちし、本大会出場を決めた。

直前の地震で会場使用が危ぶまれたが、多くの地元高校生や柔道協会関係者の協力で、会場準備や当日の競技運営など非常にスムーズに行うことができた。開催県の責務を果たすことができた。

静岡県選手団

総監督 野田昭一(東海リハビリテーション専門学校長)

総務 宮本昌人(常葉学園高校教員)

少年女子

監督 沼野由香利(藤枝順心高校教員)

コーチ 西川勝啓(裾野高校教員)

大将 小牧夏希(藤枝順心高校)

中堅 村瀬由樹(静岡学園高校)

先鋒 金田結花(浜松商業高校)

少年男子

監督 間宮幸男(興誠高校教員)

コーチ 小柳津敬博(東海大翔洋高校教員)

大将 渡辺祥真(沼津市立沼津高校)

副将 平井亮輔(東海大翔洋高校)

中堅 高田博文(静岡学園高校)

次鋒 菊地 颯(沼津市立沼津高校)

先鋒 吉澤 駿(静岡学園高校)

成年女子

監督 勝呂良三(庵原高校教員)

コーチ 西川勝啓(裾野高校教員)

大将 土屋文香(東海大学)

中堅 山下敦子(長岡総合食品)

先鋒 川口有紀(静岡県警察)

結果

成年女子 静岡県2勝1分け
ブロック1位で本大会出場
少年女子 静岡県0勝2敗1分け
ブロック3位で敗退
少年男子 静岡県2勝1敗
ブロック2位で敗退

第51回 静岡県柔道祭開催

平成21年5月4日(月・祝)

午前9時30分 静岡県武道館

今年度の柔道祭が5月4日、静岡県武道館で開催された。小学生の部から一般の部まで県内の柔道愛好家が一同に集まる県内唯一の大会となっている。

恒例の柔道協会表彰が行われ、特別功労賞3名、功労賞10名の表彰が行われた。今年度から優秀選手(全国大会優勝)を育てた指導者も優秀指導者賞を授与されることになり、3名の指導者が表彰された。また、今年度の優秀選手として片岡まゆさん(富士宮市立富士宮第一中学校)

が表彰された。最後に、先日お亡くなりになった前東部地区幹事長・県柔道協会副会長の中西様に8段が贈られた。

形の演技に続いて競技が開始された。高校男子の1回戦が8会場で実施され、一気に会場の熱気があふれてきた。その後各会場でも各部の試合が行われた。例年のことではあるが、スタンドから大きな声援が送られ、一般の部の決勝戦まで熱気あふれる試合が行われた。試合結果や表彰者は以下の通り。

平成21年度静岡県柔道協会表彰

《特別功労賞》

- 七段 鈴木 宅治
- 六段 高田 厚
- 六段 渡邊 格一

《功労賞》

- 七段 渡辺 達也
- 六段 大形 厚三
- 六段 寺田特太郎
- 六段 森永 祐司
- 五段 興柁 正人
- 五段 小出 晃章
- 四段 増井 廣康
- 四段 中野 有哉
- 四段 平井 孝治
- 三段 増尾 清己

《優秀指導者賞》

- 四段 神山 信之(神戸館館長)
- 第5回全国小学生学年別柔道大会 5年生男子45kg級優勝 森下北斗君を育成

四段 渡邊 智之

(富士宮第一中学校柔道部顧問)

第39回全国中学校柔道大会

2009年チューリッゲン国際柔道大会

女子48kg級優勝 片岡まゆさんを育成

三段 沼野由香利

(藤枝順心高等学校柔道部顧問)

2008年世界女子ジュニア体重別選手権大会

女子52kg級優勝 加賀谷千保さんを育成

《優秀選手賞》

初段 片岡 まゆ(富士宮第一中学校)

2009年チューリッゲン国際柔道大会女子48kg級優勝

団体成績

小学校の部

- 1位 大仁柔道会
- 2位 田代道場
- 3位 笠井柔道館
- 3位 高山柔道塾

中学校の部(男子)

- 1位 静岡学園中学
- 2位 浜松高台中学
- 3位 東海大翔洋中学
- 3位 沼津金岡中学

中学校の部(女子)

- 1位 市立沼津中等部

- 2位 富士宮第一中学
- 3位 東海大翔洋中学
- 3位 常葉学園橘中学

- 高校の部 (男子)**
- 1位 静岡学園高校
 - 2位 市立沼津高校
 - 3位 新居高校
 - 3位 浜松商業高校

- 高校の部 (女子)**
- 1位 藤枝順心高校
 - 2位 東海大翔洋高校
 - 3位 市立沼津高校
 - 3位 浜松商業高校

- 一般の部**
- 1位 静岡産業大学
 - 2位 長岡綜合食品店
 - 3位 NPO法人武道学会
 - 3位 葦山柔道教室

- 優秀選手**
- 小学校の部
- 辻 幸之助 (大仁柔道会)
- 中学校の部 (男子)
- 飯川夢二郎 (田代道場)
- 中学校の部 (女子)
- 佐野将大 (静岡学園中学)
 - 田村政樹 (市立沼津中等部)

- 高校の部 (男子)
- 村山のどか (市立沼津中等部)
 - 山口凌歌 (富士宮第一中学)
- 高校の部 (女子)
- 高田博文 (静岡学園高校)
 - 渡辺祥真 (市立沼津高校)

- 一般の部**
- 伊藤美麗 (藤枝順心高校)
 - 鈴木里穂 (東海大翔洋高校)

内田武三士 (静岡産業大学)
西田将貴 (長岡綜合食品店)

講道館柔道「一形」優秀賞

投の形

- 取四段 齊藤修司 (士道会)
- 受三段 岡部真也 (士道会)

極の形

- 取五段 森下良男 (協栄森下道場)
- 受五段 高林祐介 (協栄森下道場)

柔の形

- 取七段 白井康二 (新居体育協会)
- 受四段 白井恵子 (新居体育協会)

講道館護身術

- 取六段 一瀬 誠 (浜北柔道協会)
- 受六段 竹内紀久夫 (浜北柔道協会)

五の形

- 取七段 西島温行 (福田柔道クラブ)
- 受七段 磯部正博 (福田柔道クラブ)

スポーツフェスティバル

今年度のスポーツフェスティバルは西部地区11月8日(日)浜松市浜北総合体育館、中部地区は11月15日(日)静岡市北部体育館、東部地区は11月8日(日)沼津市勤労者体育センターで開催された。各地区それぞれ工夫して実施しており、柔道の普及に努めている。今年は中部地区の様子を簡単に報告する。

中部地区スポーツフェスティバル

今年度は二種別による団体戦(3人制)を実施した。
種別①(無段〜3段、18歳〜30歳)年齢は若く現役で活躍する選手が多く参加した。9チームが参加し、予選リーグ・決勝リーグで勝敗を争った。若くて元気な試合には好感が持てたが、中には練習不足で息が上がる選手も見受けられ仕事と練習の調整が難しいことを感じさせた。優勝はALSO静岡支社であった。静岡市内のチームが多く参加しており、静岡市外のチームのさらなる参加が望まれる。

種別②(2段以上、30歳以上)7チームが参加し、予選リーグ・決勝戦で勝敗を争った。年齢は30歳代16名40歳代10名とベテランの参加があり、実力と重みがある往年の名選手が多く出場した。「お父さん頑張つて」と応援する母子の姿があり、ほほえましい会場となり笑いを誘っていた。優勝は静岡柔道クラブで決勝で破った東海翔洋倶楽部であった。

協会表彰

平成21年度の静岡県柔道協会表彰が11月28日(土)午後4時からホテルシテイオ静岡にて行われた。受賞者は以下の5名でした。

- 鈴木優希君 (常葉学園橘中学校)
- 第40回全国中学校柔道大会 男子55kg級 3位入賞
- 田村雅樹君 (浜松市立高台中学校)
- 第40回全国中学校柔道大会 男子73kg級 3位入賞
- 渡辺祥真君 (沼津市立沼津高等学校)
- 第58回全国高等学校総合体育大会 柔道競技校男子100kg超級 3位入賞
- 岡本里帆さん (藤枝順心中学校)
- 第40回全国中学校柔道大会 女子44kg級 準優勝
- 渡辺明里さん (富士宮市立富士宮第一中学校)
- 第40回全国中学校柔道大会 女子57kg級 3位入賞

保護者、柔道協会の理事などが見守る中、今年度の表彰が行われた。安齊会長から挨拶があり、受賞者に記念品と賞状が贈られた。最後に受賞者を代表し、沼津市立沼津高等学校の渡辺君からお礼の言葉があり、合わせて力強い今後の抱負も聞くことができた。



表彰者を囲んで

全日本選手権女子

土屋文香 (東海大学) ベスト8進出

第29回全国少年柔道大会

平成21年5月5日 講道館 個人6年生 森下北斗

3回戦進出
5年生 大橋海斗
2回戦進出
団体戦 神士館
2回戦進出

第31回全国高校選手権

平成21年3月20日
女子団体 藤枝順心高校
ベスト8進出
男子団体 静岡学園高校
初戦敗退

**第26回静岡県
大学高専柔道春季大会**

5月3日(日) 静岡大学
形の部 優勝 静岡大学
取り 内野靖之
受け 長谷川翔太
優勝 静岡産業大学A

個人 優勝 静岡産業大学A
女子 竹輪有基(静岡産業大学)
無段 伊藤 洸(沼津高専)
68kg級 小泉仁史(静岡産業大学)
80kg級 高原憲司(静岡産業大学)
80kg超級 眞部 光(静岡産業大学)

**都道府県対抗第25回
全日本女子柔道大会**

6月20日(土) 21日(日)

岡山県武道館
1回戦 静岡県1-1
群馬県(内容勝ち)
2回戦 静岡県0-1 山口県
監督 勝呂良三(庵原高校教員)
コーチ 西川勝啓(裾野高校教員)
先鋒 川口有紀(静岡県警察)
次鋒 勝呂 綾(日本大学)
中堅 伊藤綾香(龍谷大学)
副将 山下敦子(長岡綜合食品)
大将 土屋文香(東海大学)

全日本ジュニア県大会

平成21年6月27日(土)
静岡県武道館
60kg級 吉澤 駿(静岡学園高校)
66kg級 庄司史成(静岡学園高校)
73kg級 前原直道(浜松商業高校)
81kg級 高田博文(静岡学園高校)
90kg級 関根龍成(静岡学園高校)
100kg級 平井亮輔(東海大学祥洋高校)
100kg超級 渡辺祥真(市立沼津高校)

48kg級 金田結花(浜松商業高校)
52kg級 神山結理(市立沼津高校)
57kg級 井口采美(浜松商業高校)
63kg級 岩澤胡桃(加藤学園高校)
70kg級 山村瑞葉(浜松北高校)
78kg級 村瀬由樹(静岡学園高校)
78kg超級 小牧夏希(藤枝順心高校)

全日本ジュニア東海ブロック大会

7月12日(日) 愛知県武道館
各級優勝者が全国大会へ出場

全日本ジュニア選手権大会

9月12日(土) 13日(日)
埼玉県立武道館
男子60kg級 吉澤 駿(静岡学園高校)
初戦敗退

男子100kg級 渡辺祥真(沼津市立沼津高校)
初戦敗退

女子48kg級 金田結花(浜松商業高校)
初戦敗退

女子52kg級 神山結理(沼津市立沼津高校)
初戦敗退

女子70kg級 山村瑞葉(浜松北高校)
初戦敗退

女子78kg級 村瀬由樹(静岡学園高校)
初戦敗退

その他本県関係者
女子52kg級 加賀谷千保(山梨学院大学1年)
優勝

女子78kg超級 土屋文香(東海大学1年)

準優勝
男子66kg級 正治和也(日本大学2年)
初戦敗退

第34回 全国教員柔道大会

8月2日(日) 講道館
2回戦 静岡県2-0 京都府
3回戦 静岡県0-3 東京都
監督 須田直之(清水東高校)
大将 山崎大介(富士宮北高校)
副将 小塚直哉(飛龍高校)
中堅 井口佳彦(浜北西高校)
次鋒 中村 航(島田学園高校)
先鋒 水口 透(日本大学三島高校)

関東警察柔道大会

6月25日(木)
団体 静岡県 1-3 長野県
静岡県 0-5 神奈川県

**第6回全国小学生
学年別柔道大会**

8月23日
長野県松本市松本総合体育館
5年男子45kg級 寺田海斗(柔好会)
ベスト16

45kg超級

川井康平(錬心館) 予選リーグ敗退
5年女子40kg級 小林夏希(清流館山縣道場) ※
ベスト8

40kg超級

嘉地唯花(藤枝柔道倶楽部) 予選リーグ敗退
6年男子60kg級 森下北斗(神士館) 予選リーグ敗退

60kg超級

小笠原雄也(藤枝柔道倶楽部) 予選リーグ敗退
6年女子45kg級 鈴木茉莉(柔清会) 予選リーグ敗退

45kg超級

植松ほたる(富士市柔道会) 予選リーグ敗退

※5年女子40kg級は菅谷友紀(育誠館)が県大会優勝したが、怪我のため選手変更された。

全国中学校柔道大会

8月22日~25日
沖縄県立武道館
女子団体戦(予選リーグ)
沼津市立沼津中学校 2-1-1 阿波中学校(徳島県)
沼津市立沼津中学校 3-1-0 豊見城中学校(沖縄県)
決勝トーナメント

90 kg級	佐野将大(静岡学園中学校)
81 kg級	遠田扶巳也(東海大学翔洋中学校) 3回戦進出(ベスト16)
73 kg級	田村雅樹(浜松高台中学校) 3位入賞
66 kg級	西村直之(富士南中学校) 5位入賞
60 kg級	佐藤光将(静岡学園中学校) 2回戦進出
55 kg級	鈴木優希(常葉橋中学校) 2回戦敗退
70 kg級	村山のどか(市立沼津中学校) 3回戦進出(ベスト16)
70 kg超級	滝川真央(沼津原中学校) 2回戦敗退
63 kg級	菊池優貴乃(静岡学園中学校) 2回戦進出
57 kg級	渡辺明里(富士宮第一中学校) 3位入賞
52 kg級	花村礼乃(伊豆長岡中学校) 5位入賞
48 kg級	馬場あゆ美(東海大学翔洋中学校) 2回戦敗退
44 kg級	岡本理帆(藤枝順心中学校) 準優勝
個人戦	
男子団体(予選リーグ)	
私立静岡学園中学校	1-2
五十市中学校(宮崎県)	
私立静岡学園中学校	3-0
緑南中学校(北海道)	
沼津市立沼津中学校	0-2
私立淑徳中学校(東京都)	

90 kg超級	大田和也(静岡学園中学校) 3回戦進出(ベスト16) 初戦敗退
90 kg級	関根龍成(静岡学園高校) 2回戦進出
81 kg級	高田博文(静岡学園高校) 2回戦進出
73 kg級	菊池 颯(市立沼津高校) 2回戦進出
66 kg級	庄司史成(静岡学園高校) 2回戦進出
60 kg級	加賀谷太郎(藤枝明誠高校) 初戦敗退
55 kg級	藤枝順心高校 0-2
48 kg級	青森北高校(青森県) 2-1-1
44 kg級	前橋育英高校(群馬県) 2-1-1
40 kg級	静岡学園高校 0-2
35 kg級	国士館高校(東京都) ベスト8進出
30 kg級	藤枝順心高校 2-1-0
25 kg級	秋田商業高校(秋田県) 2回戦進出
20 kg級	埼玉栄高校(埼玉県) 2回戦進出
15 kg級	女子団体 ベスト8進出
10 kg級	女子団体 ベスト8進出
5 kg級	女子団体 ベスト8進出
0 kg級	女子団体 ベスト8進出

68 kg級	優勝 濱浦祐貴(静岡産業大学)
60 kg級	優勝 石田 巨(浜松商業高校)
52 kg級	優勝 石井都百希(日本大学三島高校)
44 kg級	優勝 石川 敦大(浜松商業高校)
36 kg級	優勝 細川 南口(加藤学園高校)
28 kg級	優勝 南口 優太(加藤学園高校)
20 kg級	優勝 南口 優太(加藤学園高校)
12 kg級	優勝 南口 優太(加藤学園高校)
4 kg級	優勝 南口 優太(加藤学園高校)
0 kg級	優勝 南口 優太(加藤学園高校)
90 kg級	優勝 川口 初戦敗退
81 kg級	優勝 日下 ベスト8進出
73 kg級	優勝 小椋 初戦敗退
63 kg級	優勝 岩澤胡桃(加藤学園高校) 3回戦進出
57 kg級	優勝 井口采美(浜松商業高校) 2回戦進出
52 kg級	優勝 秋山侑里佳(藤枝順心高校) 3回戦進出
48 kg級	優勝 金田結花(浜松商業高校) ベスト8進出
44 kg級	優勝 山村瑞葉(浜松北高校) ベスト8進出
40 kg級	優勝 山村瑞葉(浜松北高校) ベスト8進出
36 kg級	優勝 山村瑞葉(浜松北高校) ベスト8進出
32 kg級	優勝 山村瑞葉(浜松北高校) ベスト8進出
28 kg級	優勝 山村瑞葉(浜松北高校) ベスト8進出
24 kg級	優勝 山村瑞葉(浜松北高校) ベスト8進出
20 kg級	優勝 山村瑞葉(浜松北高校) ベスト8進出
16 kg級	優勝 山村瑞葉(浜松北高校) ベスト8進出
12 kg級	優勝 山村瑞葉(浜松北高校) ベスト8進出
8 kg級	優勝 山村瑞葉(浜松北高校) ベスト8進出
4 kg級	優勝 山村瑞葉(浜松北高校) ベスト8進出
0 kg級	優勝 山村瑞葉(浜松北高校) ベスト8進出

68 kg級	優勝 濱浦祐貴(静岡産業大学)
60 kg級	優勝 石田 巨(浜松商業高校)
52 kg級	優勝 石井都百希(日本大学三島高校)
44 kg級	優勝 石川 敦大(浜松商業高校)
36 kg級	優勝 細川 南口(加藤学園高校)
28 kg級	優勝 南口 優太(加藤学園高校)
20 kg級	優勝 南口 優太(加藤学園高校)
12 kg級	優勝 南口 優太(加藤学園高校)
4 kg級	優勝 南口 優太(加藤学園高校)
0 kg級	優勝 南口 優太(加藤学園高校)
90 kg級	優勝 川口 初戦敗退
81 kg級	優勝 日下 ベスト8進出
73 kg級	優勝 小椋 初戦敗退
63 kg級	優勝 岩澤胡桃(加藤学園高校) 3回戦進出
57 kg級	優勝 井口采美(浜松商業高校) 2回戦進出
52 kg級	優勝 秋山侑里佳(藤枝順心高校) 3回戦進出
48 kg級	優勝 金田結花(浜松商業高校) ベスト8進出
44 kg級	優勝 山村瑞葉(浜松北高校) ベスト8進出
40 kg級	優勝 山村瑞葉(浜松北高校) ベスト8進出
36 kg級	優勝 山村瑞葉(浜松北高校) ベスト8進出
32 kg級	優勝 山村瑞葉(浜松北高校) ベスト8進出
28 kg級	優勝 山村瑞葉(浜松北高校) ベスト8進出
24 kg級	優勝 山村瑞葉(浜松北高校) ベスト8進出
20 kg級	優勝 山村瑞葉(浜松北高校) ベスト8進出
16 kg級	優勝 山村瑞葉(浜松北高校) ベスト8進出
12 kg級	優勝 山村瑞葉(浜松北高校) ベスト8進出
8 kg級	優勝 山村瑞葉(浜松北高校) ベスト8進出
4 kg級	優勝 山村瑞葉(浜松北高校) ベスト8進出
0 kg級	優勝 山村瑞葉(浜松北高校) ベスト8進出



速報
高校新人柔道大会

68 kg級	優勝 濱浦祐貴(静岡産業大学)
60 kg級	優勝 石田 巨(浜松商業高校)
52 kg級	優勝 石井都百希(日本大学三島高校)
44 kg級	優勝 石川 敦大(浜松商業高校)
36 kg級	優勝 細川 南口(加藤学園高校)
28 kg級	優勝 南口 優太(加藤学園高校)
20 kg級	優勝 南口 優太(加藤学園高校)
12 kg級	優勝 南口 優太(加藤学園高校)
4 kg級	優勝 南口 優太(加藤学園高校)
0 kg級	優勝 南口 優太(加藤学園高校)
90 kg級	優勝 川口 初戦敗退
81 kg級	優勝 日下 ベスト8進出
73 kg級	優勝 小椋 初戦敗退
63 kg級	優勝 岩澤胡桃(加藤学園高校) 3回戦進出
57 kg級	優勝 井口采美(浜松商業高校) 2回戦進出
52 kg級	優勝 秋山侑里佳(藤枝順心高校) 3回戦進出
48 kg級	優勝 金田結花(浜松商業高校) ベスト8進出
44 kg級	優勝 山村瑞葉(浜松北高校) ベスト8進出
40 kg級	優勝 山村瑞葉(浜松北高校) ベスト8進出
36 kg級	優勝 山村瑞葉(浜松北高校) ベスト8進出
32 kg級	優勝 山村瑞葉(浜松北高校) ベスト8進出
28 kg級	優勝 山村瑞葉(浜松北高校) ベスト8進出
24 kg級	優勝 山村瑞葉(浜松北高校) ベスト8進出
20 kg級	優勝 山村瑞葉(浜松北高校) ベスト8進出
16 kg級	優勝 山村瑞葉(浜松北高校) ベスト8進出
12 kg級	優勝 山村瑞葉(浜松北高校) ベスト8進出
8 kg級	優勝 山村瑞葉(浜松北高校) ベスト8進出
4 kg級	優勝 山村瑞葉(浜松北高校) ベスト8進出
0 kg級	優勝 山村瑞葉(浜松北高校) ベスト8進出

速報
全日本選手権県予選会

今年度から高校柔道新人大会(選手権大会)が大きく変更された。個人戦女子は52kg、57kg、63kg、70kg、無差別の5階級となり、男子個人戦は60kg、73kg、81kg、90kg、無差別の5階級となった。全国大会は3月21日東京日本武道館で開催される。

男女の団体戦の全国大会は3月20日東京日本武道館にて開催される。

男子個人優勝者
吉澤 駿(静岡学園高校)
石田 巨(浜松商業高校)
石井都百希(日本大学三島高校)
石川 敦大(浜松商業高校)
細川 南口(加藤学園高校)
南口 優太(加藤学園高校)

女子個人優勝者
神山 結理(沼津市立沼津高校)
松川 美世(藤枝順心高校)
原田 佑花(静岡学園高校)
清 貴凜(浜松商業高校)
中村 優(藤枝順心高校)

男子団体 優勝
浜松商業高校

女子団体 優勝
藤枝順心高校

団体戦
平成22年1月16日(土) 県武道館
平成22年1月23日(土) 県武道館
平成22年2月13日 県武道館

1位 増田 圭省(セコム)
2位 小椋 俊彦(県警官)
3位 真野 洋光(県警官)

1・2位の選手が東海大会に出場する。
女子は、岡田紘味(静岡産業大学)と村瀬由樹(静岡学園高校)が東海大会に出場する。

形講習会

6月6日(土) 午前10時

静岡北部体育館柔道場

講道館講習会・静岡県中央講習会が6月6日(土) 午前10時から静岡北部体育館柔道場にて開催された。講習会の様子を審判研修委員会の八木委員長に報告していただく。

静岡県柔道協会 審判研修委員会
委員長 八木 卓

静岡県柔道協会では、講道館より講師を派遣していただき、講道館講習会・静岡県形中央講習会として次の通り開催した。

1 日時 平成21年6月6日(土) 午前10時～午後4時

2 場所 静岡市北部体育館 柔道場

3 「形」の種類と講師
「柔の形」講師八段
尾形敬史先生

講道館教育普及委員会委員長・茨城大学教授

4 受講者数 役員8名・受講生52名

尾形先生には、平成14年に翌年の静岡国体に備え、静岡市北部体育館にて「講道館柔道審判規定」、「国際柔道連盟試合審判



指導される尾形先生

規」の解説のご指導を頂きました。この講習会に参加した者もあって、何となく先生を身近に感じて終始和やかな雰囲気での講習会となった。

開講式で、静岡県柔道協会安齊悦雄会長より「皆さんは、この貴重な機会を利用して、尾形先生から正当な形をしつかり学び、細かな点までご指導頂いて技の理合い、原点を体感して更にいろいろな形に接するようお願いしたい。」との挨拶があった。講習に入り、最初に明治20年の「柔の形」の制定から平成6年のVTR制作に至るまでの経緯について、そして、嘉納師範

「柔の形」説明(『柔道』大正4年2月)から「柔の形」の成立の概要について説明があった。また、この形の持つ特色を活かして、力にたよりがちな男子の柔道とは異なり、柔道の理合いや心構え、原則的な進退動作、体捌き、及び力の用法に重きを置いた講道館女子部の稽古について、先生の体験から大変興味深いお話が聞けた。

第一教に入るにあたり、「右手で左手の首を持ち両手が離れないようにして、左手で右手の首を持ち替えてください。」と、相手に首を制されたときに、それを外して逆に相手の首を制する方法を「柔の形」の導入として紹介して下さった。

午前中には、第一教の「両手取」から始めて、「肩廻」「臑押」「肩押」と進み、最も難しいとされる「突出」を練習して午前の部を終了した。

午後は、第二教の「切下」「両肩押」「斜打」「片手取」「片手拳」と順に進んでいったが、第一教で指導を受けた崩しや攻防の理合いを意識しながら先生の解説を聞いたため、午前の講習より速いペースで進んでいった。

第一教から第三教まで15本終了したところで、全受講生が道場全域に広がり正面への礼から

15本を通して復習した。「柔の形」を初めてやる者から、15本を一通り理解している者まで幅があるために、成果の発表は第一教をやる者、第二教をやる者、第三教をやる者に分かれた。受講生を代表して、第一教では海野良信六段・植田秀四段、第二教では水野進七段・中村寿一七段、第三教では高校生の長嶋初段・神山初段の3組が形を演じた。それぞれに尾形先生から講評を頂いたなかで、高校生は、「受が確実に崩されている。しっかりとできていた。更に練習して、ぜひ、形選手権にでられるように頑張りなさい。」と励ましの言葉を頂いた。

閉講式に移り、安齊会長から受講生を代表して、望月純子二段が修了証を授与された。そして、高田勝之副会長の御礼の言葉で講習会は終了した。

「講習会の案内は毎年頂くが、今回初めて参加させて頂いた。中央の先生からご指導を頂き、正しい形を練習できて本当に良かった。自分の不勉強で初歩的な事柄を質問しても尾形先生は懇切丁寧に指導下さり、正しい形の普及に本当にご尽力されていることがよく分かりました。」の感想が聞かれた。また、「今まで『柔の形』を

指導してきたが、自分は形だけにとらわれて技の攻防の理合いなど本質までは指導できていなかった。今日は尾形先生のご指導のお陰で、今後の指導に幅が広がり本当に有難かった。」という、ご年配の先生のこの言葉は、受講生が各地区へ戻り、この講習の成果として正しい「柔の形」の普及発展に尽力してくれることが期待できるものであった。

最後に、本事業を開催して頂きました講道館、および、お忙しい中大変熱心にご指導いただきました尾形先生に厚く御礼申し上げます。



尾形先生を囲んで



戸田柔道会

- ②〒 410-3402
沼津市戸田 388-1
- ③☎ 0558 - 94 - 2146
- ④水口 裕
- ⑤児童 2 人 小学生 7 人
中学生 1 人
大学・社会人 5 人

県内各地でがんばっている「道場」を各地区の道場ずつ紹介します。

道場紹介

- ①名称
- ②住所
- ③連絡先
- ④代表者氏名
- ⑤所属人数

⑥道場紹介

昭和 62 年 11 月に柔道会を創立。当初は保健センターの一面に道場を設けて練習していましたが、平成 4 年 7 月に総合スポーツ施設である B & G 海洋センターのオープン以来、2 階柔道場にて練習に励んでいます。

練習日は火・水・金と変わりはないものの、当時は 60 名を越える生徒数も現在では 10 名程となってしまうました。

しかし、夏には東部地区の審判講習会と合宿を兼ねた大会、冬には道場の大会と、年 2 回行われる大会は、近隣の道場の協力のもと盛大に開催しております。

小さな道場ではありますが、今後ともご指導、ご協力お願いします。



函南柔道会

- ②〒 419-0112
田方郡函南町柏谷 995 番地の 25
- ③☎ 055 - 978 - 8287
- ④会長 松岡政文
- ⑤児童 6 人 (女性 1 人)
小学生 22 人 (女性 2 人)
中学生 15 人
高校社会人 21 人

⑥道場紹介

函南柔道会は、指導員不足から会員減少により、平成 13 年から道場連盟を休会しておりますが、子供の希望を叶えている小野博之先生の姿を見て、感銘した栗原・山田先生方の力を

借りする事ができましたことから、入会を希望しましたところ、道場連盟役員の方々のお力添えを頂き、平成 19 年から再入会を認められ、感謝の気持ちを持った元気な挨拶・正しい勇気を持って新しい一歩を踏み出す。友達との絆を大切に「心」をもっとうに活動中です。日本柔道への寄与と青少年育成を大事に励んで参りますので、道場連盟役員及び各道場の先生方のご指導ご協力をお願い致します。

港柔道教室

- ②〒 425-0052
焼津市田尻 340
- ③☎ 054 - 624 - 1055
- ④代表者 福村 直
- ⑤児童 4 人 小学生 15 人
中学生 2 人 高校生 1 人
大学・社会人 15 人

⑥道場紹介

港柔道教室は昭和 62 年、焼津市のはずれ小川漁港近くの港小学校の小体育館を市の武道協議会が借り受け柔道は毎週月曜日と金曜日の午後 7 時から 8 時まで小学生 8 時から 9 時までで中学、高校、一般と練習しております。モットーは子供達が少しでも



柔道を好きになってくれればそれでよし、又柔道を通じ礼儀や忍耐、協調性等を学び立派な大人になってくれれば良いと言う考えで運営されております。勝つ事を至上とせずどんな子供も受け入れて生きる力(自信)を育みたい。

嬉しい事には、かつて練習生だった子供達が幼稚園生、小学生の親になり、親子で入会し練習に来てくれる人達が出て来ました。又子供を連れて来たお母さんが、自らも子供達と練習をし、初段を取った方もおります。焼津市は市内の全ての中学校、高等学校で柔道部が廃部になっ



岳南塾

- ②静岡市駿河区向敷地 846
- ③☎ 054 - 259 - 2162
- ④塾長 佐藤充宏
- ⑤小学生 16人 中学生 11人
高校生 5人 大学・社会人 8人

て、中高生の練習生が極端に少なくなってしまう事が残念でなりません。
指導者、子供達、父母会共に明日に向かって楽しく頑張っていきたいと思えます。

⑥道場紹介

岳南塾は故望月稔先生が安倍川越しに富士山が眺望できる向敷地の地に静岡市の商工会議所の援助を受けて「岳南塾・養正館」として青少年の健全育成を謳って建てられた。稽古後午前様になるまで先生を車座に囲んで嘉納治五郎先生の直門としての体験談や武道は勿論、政治、経済、世界情勢など多くを語り合った。また欧米を中心に多くの門人が内弟子を志願し、先生の薫陶を受けて賑わった。
望月稔先生没後、道場経営を担当していたご子息から、道場の老朽化から売却の話が持ち上がり、望月先生を慕って入門していた現佐藤充宏氏が望月稔先生の武道の継承を願って道場を引き継いだ。

道場では望月稔先生の教えを中心に幼児、小学生、中・高校生、一般の柔道部と合気道、柔術、ボクササイズ、空手と多様な部門に亘って道場を利用して

いる。
少年柔道では礼儀正しい、思いやりのある人を育てることを目標に小学低学年には勝敗には余りこだわらない指導で基本を重視している。

少年柔道部の出身者の中には

小学6年で柔道を終えて、社会で指導的立場に立っている人、中学や高校、大学まで続け、中体連で全中に出場した者、インターハイに出場した者、国体に出場した者など多くの門人が巣立っている。
*写真は小学生、中学生の集合写真です。岳南塾で撮影しました。

袋井スポーツ協会柔道部

- ②〒 437-0226
袋井中学武道場
- ③☎ 090 - 9125 - 0091
- ④代表者 千葉嘉次
- ⑤児童 1人 小学生 11人
中学生 7人 高校生 0人
大学・社会人 7人

⑥道場紹介

部員達は厳しい練習に負けず、礼法を守り明るく頑張っております。

試合で勝つことは大事なことです。部員同士や先生との絆、厳しい練習をやりぬく強い気持ち、自分で考え道を切り開いて前に進む勇氣、など試合で勝つことより大事なことを練習の中からみつけてほしいと思えます。
元気で頑張っている部員達を見るとみんなが元気をもらえる、

そんなチームでありたいと指導者、父母会共々、頑張っております。



練武館

- ②〒 431-1305
浜松市北区細江町気賀
細江中学校内
- ③電話・FAX 053-523-0152
- ④館長 野沢義雄
代表 金子厚幸
- ⑤小学生 18人 中学生 5人
高校生 2人 大学・社会人 16人

⑥道場紹介

当道場は明治27年武術修業者有志18名で創設した歴史ある道

場で現在柔道部と剣道部で組織されています。(当時は弓道部もありました。)

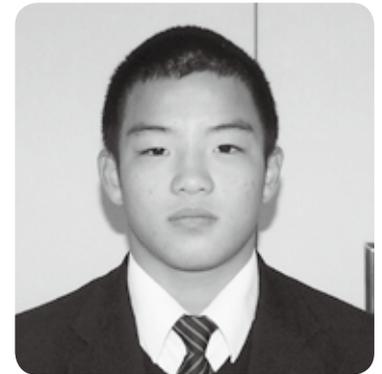
道場の場所は細江神社境内から始まり、いろいろと移転し、現在は浜松市立細江中学校武道場練武館で毎週火・土曜日夜7時～9時まで稽古しています。又、1月寒稽古、8月暑中稽古を各5日間ずつ行っています。

各種大会での成績は今一つですが、攻める・前へ出る・元気で積極的な柔道を目指し、これからはがんばっていきます。



新人選手紹介コーナー

今年度活躍された期待の若い選手を紹介します。例年女子選手の活躍が目立つ本県柔道界ですが、今年度は男子選手ががんばってくれました。第 40 回全国中学校柔道大会男子 55kg 級で 3 位入賞した鈴木優希君（常葉学園橘中学校）、同じく第 40 回全国中学校柔道大会男子 73kg 級で 3 位入賞した田村雅樹君（浜松市立高台中学校）、そして第 58 回全国高等学校総合体育大会柔道競技校男子 100kg 超級で 3 位入賞した渡辺祥真君（沼津市立沼津高等学校）です。女子選手は、第 40 回全国中学校柔道大会女子 44kg 級で準優勝した岡本里帆さん（藤枝順心中学校）と、第 40 回全国中学校柔道大会女子 57kg 級で 3 位入賞した渡辺明里さん（富士宮市立富士宮第一中学校）です。今年度は以上の個人 5 人を紹介します。



鈴木 優希君
（常葉学園橘中学校 3 年）

◎第 40 回全国中学校柔道大会
男子 55 kg 級 3 位入賞

鈴木君が柔道を始めたきっかけは、父親の知人のお子さんが柔道をやっており、誘われたことだったそうです。

今回全国大会で見事 3 位に入賞したのですが、「まさか入賞できるとは思っていなくてとてもうれしかった。」と入賞の感想を述べています。

団体戦でも県で準優勝し東海大会に出場しています。今後の希望では、「日本一になり、さらに世界一になる。」と大きな夢を持っています。

監督からは「初心を忘れないこと。一戦一戦の集中力で結果が決まる。」というアドバイスが送られています。



田村 雅樹君
（浜松市立高台中学校 3 年）

◎第 40 回全国中学校柔道大会
男子 73 kg 級 3 位入賞

田村君が柔道を始めたきっかけは小学校の先生に道場を紹介していただいたからだそうです。全国 3 位という成績については「3 位という結果はとても嬉しいです。でも、この結果に満足しないので、高校に入っても毎日練習を頑張ってまた全国の舞台で活躍したいです。」と前向きに語ってくれました。高台中学校卒業後は地元の高校に進学しさらに練習を重ねるようです。

監督からは「彼の良さは積極的に組み、技を繰り出すところである。また、バランス感覚に優れ、相手の動きに対しての反応が早い。まだまだパワー不足、組み手など課題もあるので今後

さらなる努力によって成長してくれるものと考える。」との言葉をいただいています。



渡辺 祥真君
（沼津市立沼津高等学校 3 年）

◎第 58 回全国高等学校総合体育大会柔道競技校男子 100 kg 超級
3 位入賞

渡辺祥真君は久しぶりに高校生男子として全国大会で入賞を果たしてくれました。柔道を始めたきっかけは父親に誘われたからという事です。全国 3 位入賞については「本当にうれしかった。自分でもびっくりした。」と謙虚に語っています。全日本ジュニアの試合でも東海地区で優勝し、全国大会に出場し、国体の東海地区予選にも県

の大将として出場しがんばって
くれました。

今後は「大学に進学し、日本
一を目標にがんばる。」と将来
の夢を語っています。

監督からは「部員数も少なく
充分な練習状態でない公立高校
でも目標をもつてがんばってい
けば結果を出すことができるこ
とを証明してくれたと思いま
す。」と渡辺君の頑張りを高く
評価しています。



岡本里帆さん

(藤枝順心中学校3年)

◎第40回全国中学校柔道大会

女子44kg級準優勝

岡本理帆さんが柔道を始めた
きっかけは姉の影響ということ
です。入賞の感想は「入賞でき
ましたが、去年と同じ相手に負

けてしまったので、悔しかった
です。入賞できたのも先生や先
輩達、親の応援があったからだ
と思うので、感謝の気持ちを忘
れずにこれからもがんばりたい
です。」としつかりと自分を見
つめています。

今後の希望は「今度は全国優
勝できるようにまた頑張りた
い。」と非常に前向きです。

監督からは「現状に満足せず
常に上を目指して欲しいと思い
ます。」と岡本さんに対する期
待を語ってくれました。



渡辺明里さん

(富士宮市立富士宮第一中学校2年)

◎第40回全国中学校柔道大会

女子57kg級3位入賞

渡辺さんが柔道を始めたきっ
かけは「友人に誘われた」とい

第2回全国視覚障害者学生柔道大会開催

第2回全国視覚障害者学生柔
道大会が8月8日浜松市浜北区
のグリーンアリーナで開催され
た。男子個人(60kg、66kg、73kg、
81・90kg合同)女子個人合同の
5階級で試合が行われた。試合
時間は通常と同じ4分だが、あ
らかじめ2人が組んだ状態から
試合が始まり、分かれてしまっ
たら「まで」となり、また組み

だ状態から開始となる。試合そ
のものは大きな差が無く、激し
い技の応酬が行われた。また、
組んで始まるのだが組が左右で
異なるときは非常に厳しい組み
手争いが行われた。

うごく普通のきっかけでした。
全国大会入賞の感想は「優勝を
目標にやってきたのですが、追
い込みきれずに3位という結果
でした。3位で満足せず来年こ
そは優勝したいと思います。」
と現状に満足することなく、早
速来年度に向けての意欲を感じ
させてくれます。

午前中には西部地区の道場連
盟の合同練習会が行われ、子ど
も達も多く試合を観戦した。特
に開会式への入場などでは選手
を誘導するなど活躍してくれた。
日頃目にするのがない試合を
見せていただき、子ども達と同
様勇気ももらうことができた。

静岡文化芸術大学の学生さん
や地元の出世太鼓のグループの
方々、柔道協会の方々の協力も
ありすばらしい大会になった。

今後の夢は「全中優勝そして
チューリンゲン国際大会優勝」
と世界に羽ばたく大きな希望を
持っています。

監督からは「明るく素直で誰
からも応援される選手です。将
来は『日の丸』をつける選手に
なると思います。」と期待の大
きさを感じさせるコメントをい
ただいています。



東部柔道場連盟 強化委員

宮本哲也

平成21年6月28日(日) 県立
土肥高校で、東部柔道場連盟主
催の平成21年東部少年錬成会が
開催されました。当日は、県東
部の12道場から3・4年生の部
18チーム、5・6年生の部20チ
ーム約200人の選手が集まりま
した。

各部を2ブロックに分け総当
たりで対戦する試合形式の稽古
で、参加人数には制限がないの
で、全ての選手が真剣勝負を数
多く経験できました。また、錬
成会ということで気軽に声を掛
け合う選手も多く、試合外の交
流も活発でした。

訃報

故 中西儀久 八段
平成二十一年四月二日逝去
行年七十二歳



先生は昭和30年3月静岡県立沼津商業高校卒業後、日本国有鉄道に就職された。主に鉄道公安室に勤務され、浜松鉄道公安室長・沼津鉄道公安室長を歴任され昭和62年退職され、船津製作所を設立された。

柔道を沼津商業高校入学と同時に始められ、故工藤勝太郎先生のご指導を受け実力を高めていかれた。日本国有鉄道入社後も柔道を継続し、全国鉄柔道大会に長年出場された。全日本産業別柔道大会にも全国鉄部門の代表として10回出場し、選手としてだけでなく助監督・監督・総監督も務められた。

柔道協会では昭和37年に東部地区幹事に就任され、地区会計、

県第一審議員、中央評議員、中央幹事、中央理事、第二審議員などを歴任し、平成2年からは東部地区幹事長を務められた。長年の活動が評価され、静岡新聞社・静岡放送スポーツ賞(体育功労者賞)を受賞された。

東部地区の柔道関係者はもとより、多くの方々から慕われていた先生のご冥福を心からお祈りいたします。

合掌

故 橋本章 六段
平成二十一年六月十七日
行年六十五歳



橋本先生は、昭和34年に静岡商業高等学校へ入学され、柔道を始められました。在学中は、静岡柔道部黄金期を縁の下の力持ちとして支えていただきました。

また、とても愛校心が強く、卒業後も多くの後輩たちの指導

をしていただきました。静岡ではどの年代でも、橋本先生を知らない方はいりません。近年では静岡柔道部後援会会長を務め、OB会の親睦にも貢献されました。

高校卒業後は、滝井道場に所属し多くの生徒を教え、滝井康次郎先生のもと形の修業もされました。

静岡県柔道協会では、中央役員会計や中部地区副幹事長を務められ欠かすことできない存在でした。各種県大会では、会場準備をされ、旅費の入った封筒を事前に用意する等、きめ細かな心遣いをされていました。

先生はとても明るいい人柄で、分け隔てなく人と接し、年輩の方々から若者まで皆さんお世話になった方も多いと思います。65歳という若さでお亡くなり、とても残念です。謹んでご冥福をお祈り申しあげます。

合掌



山崎先生のお祝い



山崎陸雄先生
体育章(功労章)
受章

前西部地区幹事長の山崎先生が静岡県体育協会体育章(功労章)を受章された。受章を祝う会が7月18日(土)午後5時から浜松名鉄ホテルにて開催された。安齊会長を始め多くの方々のご参加をいただき盛大に祝う会が行われ、山崎先生の長年のご努力をたたえる楽しい会となった。

高田先生のお祝い



高田勝之先生
静岡新聞社・静岡放送スポーツ賞(体育功労者賞)を受賞された。

現東部地区幹事長の高田先生が静岡新聞社・静岡放送スポーツ賞(体育功労者賞)を受賞された。受章を祝う会が4月5日(日)ホテル沼津キャッスルにて開催された。安齊会長を始め多くの方々のご参加をいただき盛大に祝う会が行われ、高田先生の長年のご努力をたたえる楽しい会となった。

表彰

静岡県体育協会体育章受賞者

功労章 山崎陸雄

優秀選手賞 加賀谷千保選手

奨励賞 片山まゆ選手

編集後記

柔道しずおかの第13号ができました。平成21年度の柔道協会の歩みが分かるよう編集したつもりですがいかがでしょうか。何か御意見などありましたら各地区広報普及委員会の委員にお知らせ下さい。

平成21年は静岡県柔道協会にとって大切な年を失った年でした。計報に載せましたが中西様と橋本様です。お二人とも長年柔道協会のために尽くされ、本当に残念でなりません。特に橋本様はまだ現役の協会役員であり、経営者です。ご家族のご無念もはかりられません。お二人のご冥福をお祈りいたします。

世の中は政権が変わり、「事業仕分け」が話題になりました。柔道協会も厳しい財政状況であることはたびたび指摘されています。柔道人口を増やし柔道を普及し競技力を高めて行くことが求められているわけですが、何でもできるわけではありません。『知恵』を出し合いながら頑張っていくようではありませんか。